

地域の中小企業のデジタル化投資を支援する省力化投資補助金、地方のAI導入の担い手になる高専発スタートアップを支援する文科省の施策と、地方でのAI活用を後押しする施策が充実してきている

中小企業省力化投資 補助金（中小企業庁）

- 中小企業による省力化を意図したデジタル化・AI活用などの投資・設備導入を支援
- カタログ型に加え、今年度から一般型（オーダーメイド）が導入



地方の中小企業
のAI導入促進

高専発スタートアップ支援 （文部科学省）

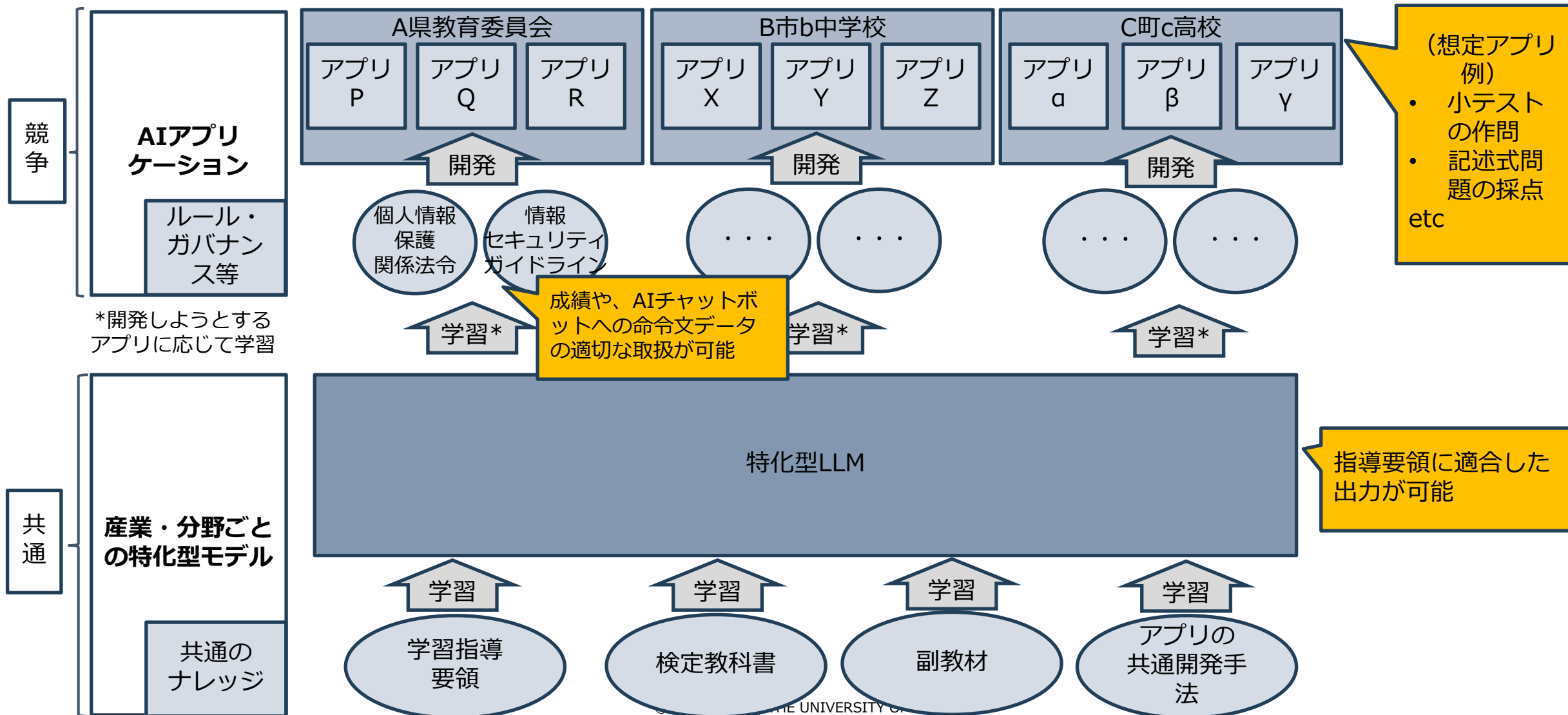
- 専門教育課では、高等専門学校発のスタートアップの設立・成長を支援
- 高専発スタートアップのメンタリングコミュニティも重要



AI導入を支援
する担い手の
育成

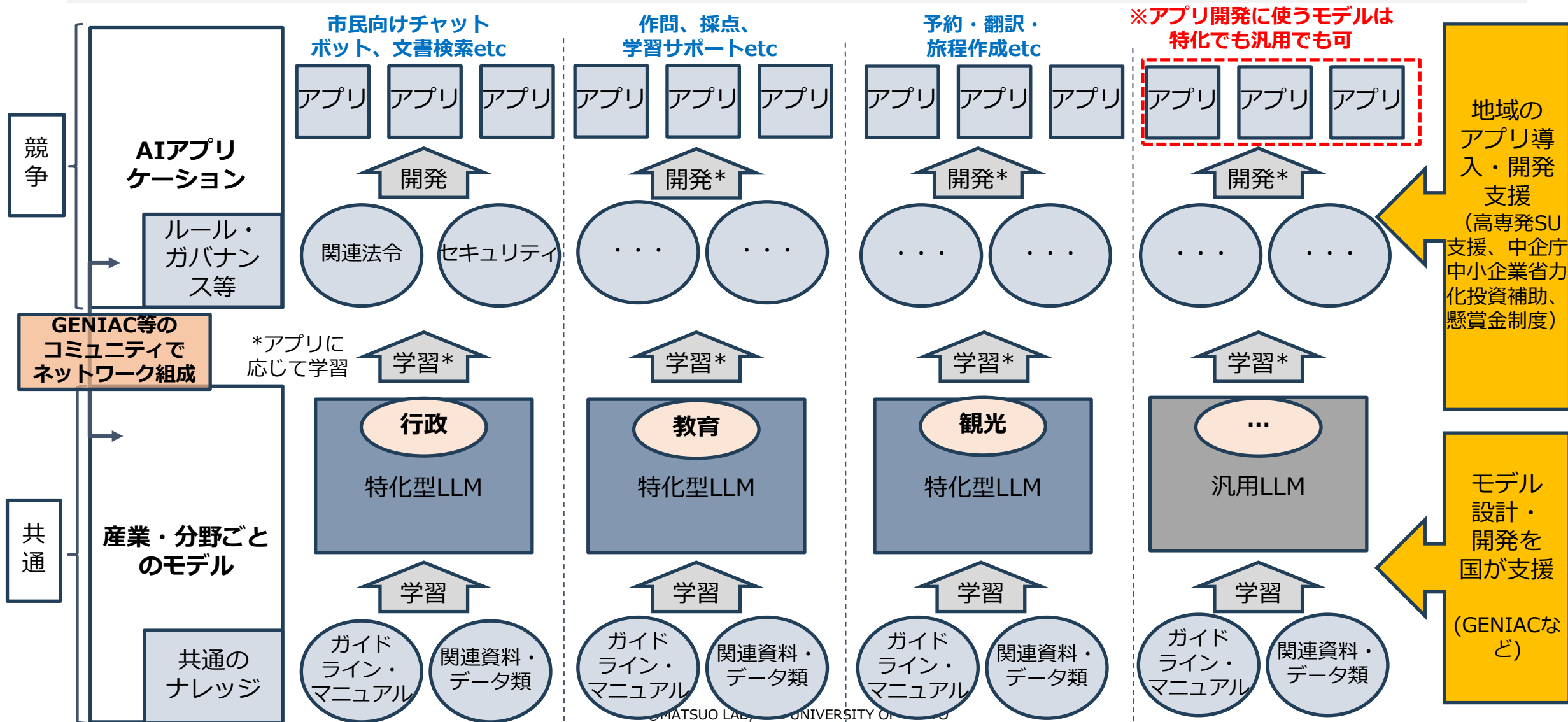
AI活用のアーキテクチャ（例：教育）

教育分野では、学習指導要領や教科書など、分野に特有の知識を学習した特化型LLMを開発。これを使い、採点や作問など、全国の自治体（教委）・学校等の現場ごとにそれぞれ創意工夫したAIアプリケーションの開発が進むと期待



AI活用のアーキテクチャ（一般）

このような産業・地域ごとのAIアプリケーションの開発や利用が進むよう、当該分野共通のガイドライン・マニュアル・データなどを開発手法を学習させた産業や分野特化LLMの基盤を整備。モデル開発とアプリケーションをそれぞれ国が支援する

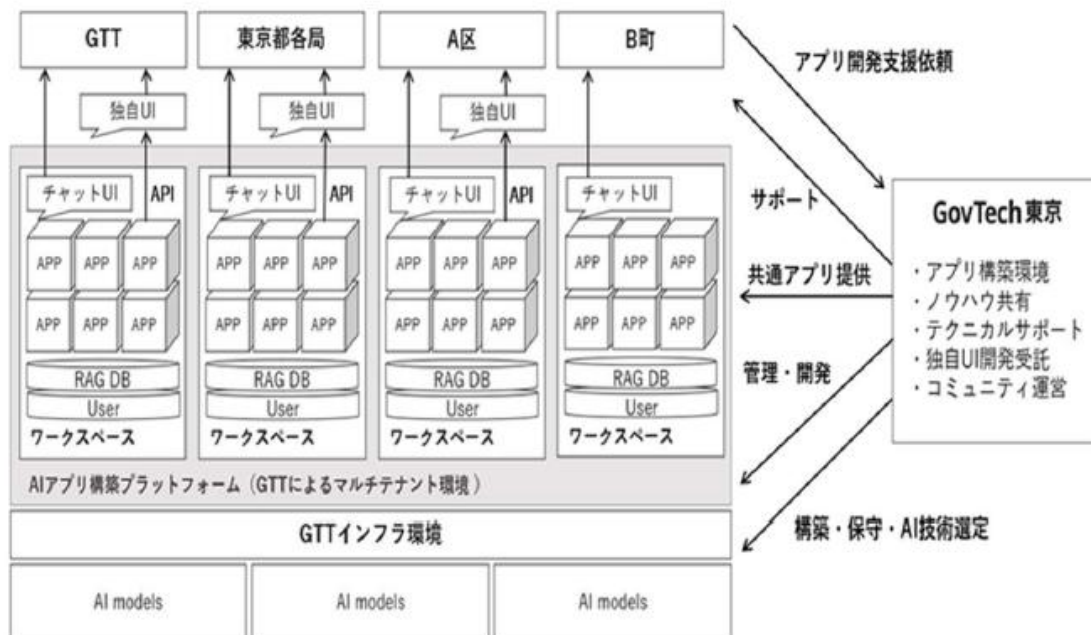


AI活用アーキテクチャ整備の必要性

都は都内の各区市町村が共通で利用可能な生成AIのアーキテクチャを整備。同様に、デジタル庁が基盤モデル開発や、それを利用したアプリケーション開発に必要なデータ、情報利用のルール・ガバナンス、API等のインフラを共通整備すべき

東京都の生成AIアーキテクチャ

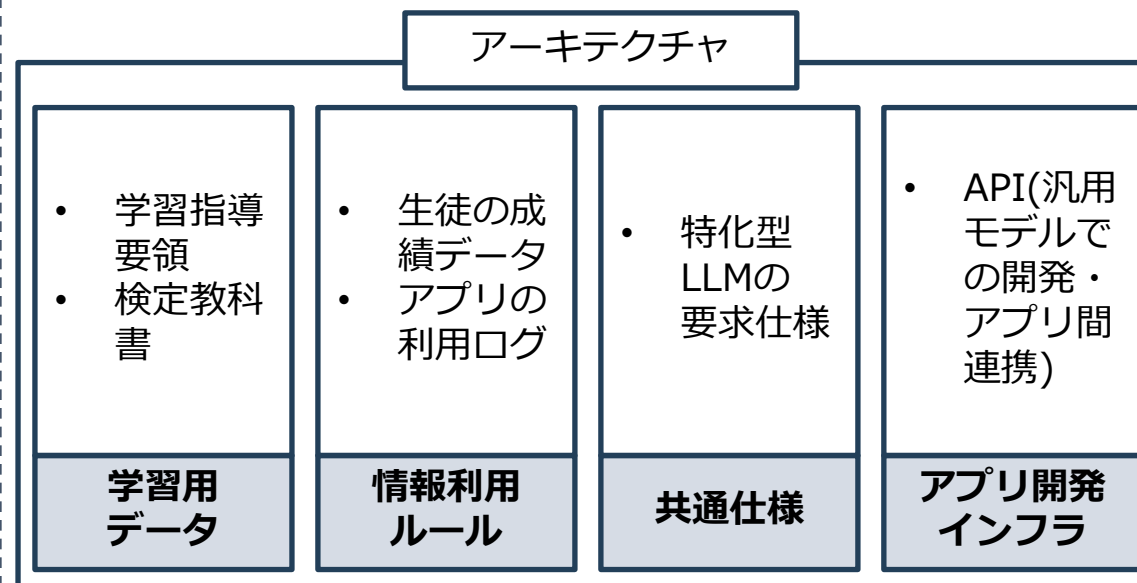
GovTech東京が構築中の生成AIプラットフォーム（アーキテクチャ）



都の区市町村が共通で利用可能なアプリ・API・DBなどを整備

デジタル庁によるアーキテクチャ（例：教育分野）

全国で奔放にアプリ開発が進むと、モデルに必要なデータを複数主体が個別に購入する、情報の取扱いの議論が長期化する、互換性のないアプリが乱立するなどの事象が想定



全国共通で必要な学習用の指導要領や教科書データ・データ利用等の基本方針、アプリ開発を支えるAPIなどを整備